

キャンプファイヤーは、自然の中で一つの火を囲み、共に歌ったり、踊ったり、語り合ったりしながら、参加者全員に深い感銘を与える、野外活動には欠くことのできないプログラムです。

満天の星のもとで燃える火を見つめながら、自分を反省し、友情を深め、情熱をもやすことは、忘れ得ぬ思い出となり、いつまでも心に残ることでしょう。

また、“光・熱・力・献身”という火についての四つの教えは、きっとその火を囲むすべての人々の心を、よりいっそう温めてくれるでしょう。

(1) キャンプファイヤーの種類

A. 儀式的火（セレモニアルファイヤー）

開会時の薪への点火や閉会時のメンバーへのトーチサービス、挨拶や祈り、誓いの言葉などによる儀式的なファイヤーです。厳粛な雰囲気の中で行われます。

B. 親睦の火（ボンファイヤー）

参加者全員が一つの火を囲み、歌ったり踊ったり出し物を演じたりして、親睦をはかるファイヤーです。動的で明るく、楽しい雰囲気の中で進行します。

C. グループファイヤー

少人数のグループで行なわれるファイヤーで、特に計画されたプログラムはありません。自由に語り歌い、コミュニケーションを深めるのに適します。

D. カウンシルファイヤー

そのキャンプの哲学や基本精神を主張するためのもので、キャンプの最後の夜に行われます。リーダーからのアドバイスや各メンバーの感想を発表したり、全員でキャンプ生活を振り返り、そのキャンプの思い出や出来事から学んだことを考えたりします。

会の始めと終わりは儀式的な様式で行われることが多いです

※ 一般的な短期キャンプでは、主にボンファイヤーを中心に構成し、始めと終わりにセレモニアルファイヤーを行う3部構成が定着していますが、日程的に余裕のあるファイヤーでは、ボンファイヤーとカウンシルファイヤーを別々に行う方が、それぞれの意義が活かされ、より思い出に残るものとなるでしょう。

(2) キャンプファイヤーの運営

キャンプファイヤーを、楽しく良い雰囲気にするために、責任と仕事の分担を決めて運営する必要があります。そしてそれぞれの係が十分に機能したとき、はじめて、すばらしいキャンプファイヤーが展開されるのです。

A. 営火長（ファイヤーチーフ）

キャンプファイヤーについて全責任をもつ大事な役で、多くの場合、その団体の責任者がこの任に当たります。そして火にまつわる話など、参加者全員の心に残る話をします。

B. 司会者（エールマスター）

キャンプファイヤーのプログラムを実際に進行していく役で、歌やゲームのリード、あるいは話し方の上手なユーモアセンスのある人が向いています。その演出いかんによりファイヤーの雰囲気は大きく左右されます。常に参加者の様子を把握し、状況により臨機応変に対応します。

C. 火の係（ファイヤーキーパー）

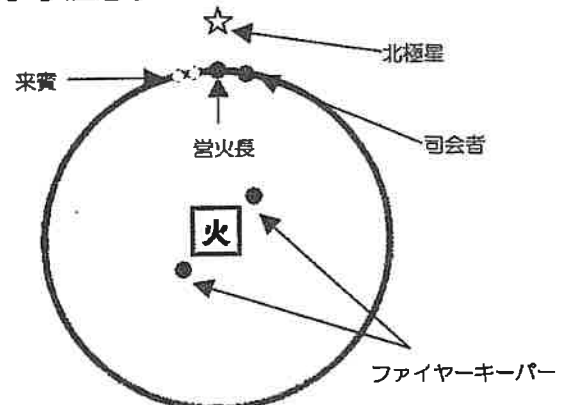
キャンプファイヤー開始前の薪の準備から、終了後の後始末に至るまで、火についてすべての責任を持ちます。特にプログラム進行中は、司会者の意図やプログラムの流れをよく理解し、火の大きさを調節しなければなりません。薪を入れるときも、目立たないようにプログラムの切れ目にすばやく行います。できれば二人以上でチームを組むと良いでしょう。

D. 火を運ぶ係（ファイヤーキャリアー）

ファイヤー場から離れた場所でトーチに点火し、ファイヤー場まで火を運んでくる役で、途中で火が消えてしまわないよう注意する必要があります。

E. 位置

営火長は北極星を背にして位置します。北極星は昔から道しるべの星とされ、指導者を意味します。ほどよい感覚で円陣をつくります。



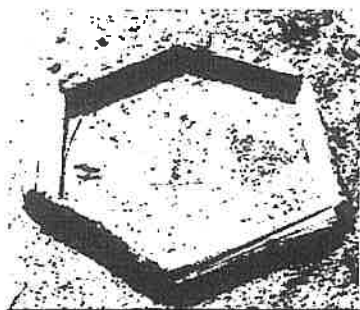
(3) キャンプファイヤーの準備物

薪・たきつけ用のシバ・新聞紙・スコップ・防水用バケツ（2、3杯）・軍手
トーチ・灯油・ライター、その他必要と思われる物

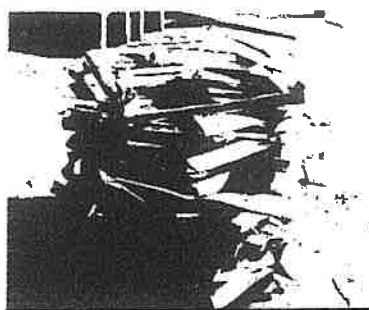
(4) 自然の家での代表的な薪の組み方

同じ太さの薪で六角形を組み、それを互い違いに重ねて腰の位置くらいまで組み上げます。高さはファイヤーの時間に応じて調節してください。

組み上げる途中の段に薪を使ってスノコをつくっておくと、火が下に落ちないのでファイヤーが長持ちします。途中で2段ほど組むことをお勧めします。組みあがれば、一番上のスノコの上に乾いた木の葉やたきつけ用の小枝、新聞紙などを入れます。



薪を六角形に組む



互い違いに重ねて組む



焚き付けをいれて完成

(5) 点 火

ファイヤーキャリアーが火を運んできて点火する方法(トーチによる点火)が一般的に行なわれていますが、それぞれの団体の目的や全体のプログラムの流れによって、色々な点火の方法が考えられます。

A. トーチによる点火

セレモニアルファイヤーによく用いられる方法で、参加者は厳粛な雰囲気の中で静かに火を迎えます。

B. マジックファイヤー

誰も点火しないのに自然に燃え上がるという点火方法で、あらかじめ組まれた薪の中にローソク、マッチ、蚊取線香などで仕掛けを作っておきます。

また、離れた高い位置から針金を張っておき、合図と同時に火のついた筒が針金をすべって点火するなど見栄えもよく、華やかなものがあります。

C. 火矢による点火

儀式的な衣装に身を包んだファイヤーキャリアーが手製の弓で火矢を放ち点火します。独特の雰囲気がありますが、火矢の扱いには十分に注意しましょう。

D. その他

点火の方法は、特に定められているわけではありません。木と木の摩擦によって火を起こし点火する方法や、専門の知識があれば化学薬品を使用するなど、プログラムに応じて色々工夫することができます。

また、これらの点火方法が万一うまくいかなかった場合のために、必ず予備の点火方法を用意しておきましょう。

(6) プログラムの展開例

宿泊の目的や展開によって、キャンプファイヤーの種類も異なり、プログラムの展開もかわってきますが、ここでは短期の宿泊の場合、一般的に行われているセレモニアルとボンを併用した3部構成の例を挙げておきます。

	プログラム	内容	備考
第1部 セレモニアル ファイヤー	集 合	最初からファイヤー場に集まるよりも、少し離れた場所に集合し、歌を歌うなどして雰囲気落ちついたものにします。 また、この時ファイヤー場に入った時の注意などもしておきます。	
	入 場	無言でファイヤー場に入り、厳粛な雰囲気の中で円陣をつくり、立って待ちます。ファイヤー場までの道にランタンを置き、火の道しるべをつくることも考えられます。	営火長やファイヤーキーパーは事前に入場しておきます。
	歌 (ハミング)	「遠き山に日は落ちて」などの歌を、司会者の歌い出しを合図に全員が歌い、静かにファイヤーの入場を待ちます。	ファイヤーキャリヤーはトーチに火をつけて準備します。
	ファイヤー入場	歌 (ハミング) の合唱中に静かに入場したファイヤーキャリヤーは、ファイヤー場を一周した後、トーチを営火長に手渡し、退場します。	営火長がファイヤーキャリヤーに点火することも考えられます。
	点火	参加者の中から選ばれた数人が中央に進み出て、営火長が分火します。分火が終わればトーチを高く掲げ、同時に点火します。	一般的には、火の四つの教えにそって四人に分火されます。
	営火長のことば	宿泊の意義目的などについて、深く心に残る話をします。	
	歌	「燃えろよ、もえろ」などの歌を、司会者の歌い出しを合図に全員が歌います。	

(7) 星をつくる

長期宿泊の最後の夜、キャンプファイヤーの終わりに行う儀式ですが、短期の宿泊においてもプログラムの第三部として取り入れることができます。

プログラムの第三部にはいり、プログラムも終盤にさしかかり炎の勢いも弱まった頃、ファイヤーキャリヤーはタイミングを見てファイヤーの段を崩し、やけどに十分注意しながら薪などを使って星の形に炭をかたどります。

次にメンバーで星を中心に円を組み、今回のキャンプを通しての感想などを話し合い、最後に、営火長が心に残ることばを話して静かに幕を閉じます。

(8) 消火と後始末

プログラムも終わりに近づくと、ファイヤーキーパーは新しい薪を入れずに、燃えている薪を組みなおして最後まで火を維持するようにします。

キャンプファイヤー終了後は、水をくんだバケツに燃えている薪や炭を入れ、消火します。直接水をかけると、耐熱レンガの破損や蒸気による火傷など、危険を伴うので絶対にしないでください。炭は灰かまどにまとめて捨て、その上から水をたっぷりかけて完全に消火します。

燃え残りの薪や灰の後始末は翌朝ですが、火が完全に消えているかどうかのチェックは、その場で必ず行う必要があります。火が残っていると火災の原因となりますので、各団体の責任において、必ず消火を確認してから退場するようにしてください。

(9) キャンプファイヤー実施上の注意

- 雨天の場合のプログラムを考えておきます。
(キャンドルファイヤー、室内レクリエーションなど)
- 時間は1時間。長くとも2時間までとします。(年齢層・集中力を考慮する)
- プログラムの流れに変化をもたせるようにします。
- 服装は虫や体温調節などを考えて長袖、長ズボンにします。
- ファイヤー場の周りの明りを消します。(施設にお願いしてみましよう)
- 他のグループが出し物をしている時に、自分達の出し物の相談はしないようにします。
- 懐中電灯は、出し物以外には使わないようにします。
- 消火のため、必ずバケツに水を2～3杯用意します。
- 他団体や、自然環境にも十分配慮すること。
- 強い風の時には特に気を配り、人や周囲の自然に害が及ばないようにします。

…以上のことを参考にし、皆さんで力を合わせ、他では決して経験できない意義

あるキャンプファイヤーを作り上げていただければ幸いです。

